

当院で画像検査を受けた方々へ

研究課題名：医用画像の診断に関する包括的研究 研究責任者： 桐生 茂

概要（研究目的と方法）：

各種画像検査の臨床的有用性については過去の知見が蓄積されてきていますが、今でも偶発的に発見される疾患や異常所見は少なくありません。また、未だ意義の確立していない副所見が発見されることもあります。加えて、画検査機器は各々進歩が続いており、特定の疾患の質的診断や病気診断において従来確立されている以上の診断情報が得られることもあります。そこで、本研究では、人工知能をふくめた様々な手法で画像検査の結果を解析し、画像診断・放射線治療に有益な知見を抽出したいと考えています。人工知能を用いた検討においては人工知能が正しく画像を解析できることの確認が必要なため、人工知能の診断能の確認を行います。

国際医療福祉大学病院では診療上の必要性から各種画像診断が施行された場合、画像検査データを記録・保存しています。本研究ではこの画像検査データ及び関連する診療情報（以下、画像検査データ等）を使わせていただきます。下記に該当する患者様の中で、ご自身の画像検査データ等が本研究に利用されることをご承諾いただけない場合には、お手数ですが研究責任者（放射線科 桐生茂）までご連絡ください（連絡先は下記に記載してあります）。

研究は個人のプライバシーを侵害しないよう個人情報を厳重に保護*しますのでご安心ください。また、本研究は既知の情報をもとに画像所見を解析することを目的としており、医療行為に相当する追加診断等は発生しません。

*①院内の画像読影専用端末上で行うか、もしくは②画像ファイル内の個人情報をすべて消去して厳格な匿名化を行うかいずれかの方法で行います。外部で作成された人工知能を用いた解析においては本研究の研究者である開発元にて匿名化データの解析が行われます。

対象となる患者様：当院にて、令和2年3月より令和11年3月までの間に、以下の疾患*および疾患疑いの診療目的で下記の画像検査**を受けた方

※血管系疾患、感染症、腫瘍性疾患、変性疾患、薬物・毒物中毒性疾患、先天性疾患、自己免疫性疾患・膠原病、外傷性疾患、内分泌系疾患、医原性疾患、特発性疾患、遺伝性疾患、精神・心因性疾患等。

**単純 X 線写真、造影検査、X 線コンピュータ断層撮、磁気共鳴画像、ポジトロン断層撮影、シンチグラフィ、単一光子放射断層撮影、超音波検査等。

御協力頂きたいこと：診療目的で施行された画像検査のデータ及び関連する診療情報を本研究に使わせていただくことです。

研究課題名：医用画像の診断に関する包括的研究（承認日 令和6年2月27日承認番号：20-Nr-057-2）

研究期間：令和2年9月21日～令和11年3月31日

研究に関するご質問等がございましたら、お気軽にご連絡ください。

<連絡先> 研究責任者：放射線科 桐生 茂 電話 0476-35-5600（国際医療福祉大学成田病院）